

自己チェック資料

令和元年 7 月 9 日
経済産業省産業技術環境局計量行政室

民間競争入札実施事業
「業務」の自己チェック資料

① 「実施要項における競争性改善上のチェックポイント」の対応状況

第 3 期の入札において、結果として 1 者応札となったことから、次期事業の入札では、第 3 期の説明会に参加したが応札しなかった事業者からのヒアリング結果を踏まえ、応札の可能性のある事業者への事前説明や新規事業者の開拓などを行う。

② 実施状況の更なる改善が困難な事情の分析

第 3 期の説明会に参加したが応札しなかった事業者からのヒアリング結果、第 3 期の事業費（予算額）推定の見込み違いがあり、落札率が 0 割の第 2 期の契約額をベースに推定したため入札を見送ったが、現行の契約額であれば応札していた可能性がある。また、追加業務の事業内容の理解不足があったものと考えられる。

このため、次期の入札においては、引き続き新規事業者の開拓に努めるとともに、第 3 期契約金額や入札公告内容の具体的な説明など、入札参加が期待される者へ個別に現行事業内容の説明等を実施し、参入障壁を解消するための措置を講じることにしたい。